入　札　公　告

総　発　第　２　号

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２３４条第１項および見附市財務規則（昭和３９年規則第３号）第１５５条の規定により、一般競争入札を実施するので、下記のとおり公告します。

平成２６年４月２日

見　附　市　長　　久　住　時　男

１．固有事項

項目		内容		
番　号		**品第１号**		
業　務　名		化学消防ポンプ車　購入		
納　入　場　所		見附市　昭和町２丁目　地内		
納　入　期　限　等		平成 26 年 10 月 31 日まで　（※納期に間に合わない場合、協議を要します。）		
概　要		車両：低床型ダブルキャブオーバー4 輪駆動消防専用シャシ（寒冷地仕様）　１台		
予　定　価　格		入札後に公表します。	最低制限価格	設定しません
入　札　日　時		平成２６年４月１７日（木）　10 時 00 分		
入　札　場　所		見附市役所　４階　４０１会議室		
仕　様　書　等		本入札公告とともにホームページ掲載		
入　札　保　証　金		免除	契約保証金	免除
前　金　払		しない		
部　分　払		する		
入札参加条件		（以下のすべてを満たすもの）		
	入札参加登録	―		
	地　域　要　件	新潟県内に営業所を有する者（ただし、本社・本店以外での営業所で参加する場合は、当該営業所が契約に関する一切の権限の委任を受けている者		
	そ　の　他	①新潟県内で消防ポンプ車の営業拠点を有する者又は販売代理店である者。 ②入札書には、消費税抜き金額を記載してください。 ③契約金額は、入札書に記載された金額に消費税相当額 8%を加算した金額が契約金額となります。 ④代表者、役員、支店長等の相当の地位にある者が集団的又は常習的に暴力的違法行為を行うおそれのある組織の関係者（暴力団関係者）でないこと。		
申請書提出期限		平成２６年４月１４日(月)　午後５時まで		
入札参加資格決定		入札資格のない者には平成２６年４月１６日（水）までに通知します。		
見　積　内　訳　書		メーカー製品番号等記載した見積内訳書を入札時に提出してください。（初回のみ） ※リース等の入札案件は入札書のみの提出となり、見積内訳書は提出不要です。		
再　入　札		再入札は１回までとします。		
その他特記事項		本案件は、契約締結について議会の議決を要するため、見附市財務規則第 145 条第１項の規定により仮契約を締結します。		

※入札公告における、「共通事項」を必ず確認してください

化学消防ポンプ自動車

（Ⅱ型）

仕 様 書

見附市消防本部

第１　総　則

１　目　的

この仕様書は、見附市消防本部（以下「発注者」という。）が、平成２６年度に購入する化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（以下「化学車」という。）の仕様について必要な事項を定めるものとする。

２　適合法令等

化学車の製作は、仕様書及び承認図書による他、次に掲げる法令等に適合し、緊急自動車として承認を得られるものとする。

(1)　動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和６１年自治省令第２４号）
(2)　道路運送車両法（昭和２６年運輸省令第１８５号）
(3)　道路運送車両の保安基準（昭和２６年運輸省令第６７号）
(4)　その他の関係法令等

３　車両概要

化学車は、低床型ダブルキャブオーバー四輪駆動消防専用シャシ（寒冷地仕様）に、消防ポンプ装置（消防検定Ａ－２級以上）、泡消火薬剤混合装置、泡放射砲装置、水槽（１，５００Ｌ以上）、薬液槽（５００Ｌ以上）、高圧噴霧消火装置及び消防活動上必要な資器材を装備し、危険物火災及び一般建物火災等の消火活動を迅速に行うことができる化学消防ポンプ自動車Ⅱ型とする。

４　製作上の問題処理等

(1)　艤装は化学消防ポンプ自動車Ⅱ型として、製作にあたりシャシメーカーと緊密な連絡を保ち、誠意を持って行うこと。
(2)　仕様内容の解釈については発注者の解釈に従うこと。
(3)　仕様書に記載されてない詳細な事項等で疑義が生じたときは、受注者は発注者の指示に従うこと。
(4)　仕様内容に技術上の理由で仕様の変更が必要な場合は、発注者と速やかに協議し、承認を得たあと施工すること。また、艤装変更に伴う費用は受注者の負担とする。
(5)　化学車の製作にあたり、工業所有権その他の法令等に抵触する等の問題が生じた場合は、受注者において問題を解決し、その旨発注者に報告すること。
(6)　車両の保管責任は、発注者の完成検査を受けるまでの間は、受注者が負うものとする。

５　製作上の注意

車体は、緊急出動、消火作業等消防活動に適した構造及び機能を有するもので、次のとおりとする。

(1)　標準装備以外の各装置及び部品の取り付けは、ボルト締めを原則とし、ボルト貫通部が隊員に接触する恐れがある場合は、袋ナットとすること。
(2)　車体全体にわたり、防水、防蝕及び防錆措置を十分に施すこと。
(3)　清掃、点検、調整及び修理が容易に行える構造とすること。

(4)　使用取扱い上の安全性及び操作性を十分考慮すること。
(5)　車体全体の重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分考慮すること。
(6)　装備品等は、機能的に配備すること。
(7)　堅牢にして、長期の使用に十分耐え得るものとする。
(8)　洗浄ができ、かつ残水等が生じない構造とすること。
(9)　車体本体、艤装材料、装備品、取付品、取付装置及び積載品等は、全て最新型で新規製品とすること。また、同等品以上の性能を有する物品を主張する場合は、入札前に性能に関する資料を提出し見附市消防本部警防課（以下「担当者」という）の承認を得ること。
(10)　電気照明類は、全てＬＥＤとすること。
(11)　スイッチ類は、バックライトを内蔵し夜間でも見え易い構造とすること。
(12)　積載器具等の使用時に、接触によるキズや塗装剥離の恐れがある部分には、適切な保護対策を講じること。

６　無線機及びＡＶＭ装置の取り付け

無線機及びＡＶＭ装置の取り付けは、見附市消防本部のデジタル無線設置工事施工業者が行う。
(1)　実施業者は次のとおりとする。
　　住所　新潟県長岡市西新町２丁目８番６号
　　名称　藤島無線工業　株式会社
(2)　備品及び取付費用は契約金額に含むものとする。
(3)　無線機一式は、廃車する車両から取り外し、取り付けるもの。なお、部品が不足する場合は調達すること。
(4)　ＡＶＭ装置は、導入済みの装置と同一の装置を取り付けること。

第２　提出書類

１　承認図書

受注者は、契約後速やかに担当者と細部にわたり十分な打合せを行うものとし、打合せ後１ヶ月以内に次の書類（Ａ４版に製本）を２部提出し、艤装に着手するものとする。
(1)　製作工程表
(2)　シャシ関係図書
　ア　シャシ２面図（縮尺１/２０）
　イ　キャブ改造図
　ウ　諸元明細書
(3)　艤装関係図書
　ア　艤装外観５面図（前後面、両側面、上面、縮尺１/２０））
　イ　車体骨組図
　ウ　車内レイアウト図
　エ　水槽関係図
　オ　泡消火薬剤槽関係図
　カ　ポンプ関係図

キ　真空ポンプ関係図
ク　動力伝達装置関係図
ケ　配管図及び配管系統図
コ　泡放射砲関係図
サ　高圧噴霧消火装置
シ　電気系統配線図
ス　はしご昇降装置関係図書
セ　ホースカー昇降装置関係図書
ソ　資器材収納ボックス製作図
タ　積載品等配置図
チ　照明装置関係図
ツ　その他発注者が指示する図書

2　完成図書

受注者は、納入前に下記の書類（Ａ４版に製本）を提出すること。

(1)	艤装完成図面（５面図）	２部
(2)	改造自動車等審査結果通知書の写し	２部
(3)	緊急自動車届出確認書の写し	２部
(4)	車検証の写し	２部
(5)	水路系統図	２部
(6)	電気配線関係図	２部
(7)	使用電球一覧表	２部
(8)	使用ヒューズ一覧表	２部
(9)	ポンプ取扱説明書及び整備要領書	２部
(10)	資機材一覧表及び取扱説明書	２部
(11)	車両部品表	２部
(12)	動力消防ポンプの規格適合表示の写し	１部
(13)	日本消防検定協会の鑑定証書の写し	１部
(14)	取付装置及び積載品の保証書	１部
(15)	納品書、納品明細書	１部
(16)	その他、発注者が指示するもの	１部

3　写真等

次に掲げる写真（カラーＥサイズ、Ａ４版ファイルで製本）を、完成図書と併せて１部提出すること。また、写真データを保存したＣＤ１枚を添付すること。

(1)　完成車両（新規登録後でナンバー付）の前後左右及び斜め前後左右及び上部前後方向から撮影したもの。
(2)　製作工程に基づくシャシから完成車までの状況を撮影したもの。
(3)　塗装状況が確認できるもの。（工程ごと）
(4)　付属品を撮影したもの。
(5)　その他、発注者が指示するもの。

第３　シャシ

１　完成車の寸法及び重量

(1)　全　　　長　　７，５００㎜以下
(2)　全　　　幅　　２，３５０㎜以下
(3)　全　　　高　　３，１００㎜以下（無線アンテナを除く）
(4)　車両総重量　　１２．００ｔ未満

２　諸元及び性能

(1)	シャシ	消防専用シャシ（キャブオーバー型ダブルシート）
(2)	駆動方式	低床四輪駆動
(3)	乗車定員	６名
(4)	ホイールベース	３．５ｍ以上３．８ｍ未満
(5)	エンジン	水冷式４サイクルディーゼルエンジン
(6)	変速装置	マニュアルトランスミッション
(7)	エンジン出力	２１０ＰＳ以上
(8)	ステアリング	パワーステアリング
(9)	動力取出装置	フルパワーＰＴＯ
(10)	補助動力取出装置	サイドＰＴＯ
(11)	オルタネーター	２４Ｖ－９０Ａ以上
(12)	バッテリー	１４５Ｆ５１以上
(13)	燃料タンク	１００Ｌ以上
(14)	寒冷地仕様	

３　主な装備品

(1)	消防ポンプ装置	Ａ－２級以上
(2)	水槽	１．５立方メートル以上
(3)	泡消火薬液槽	０．５立方メートル以上
(4)	泡消火薬剤混合装置	ポンププロポーショナー方式
(5)	泡ターレット	
(6)	高圧噴霧消火装置	
(7)	はしご自動昇降装置	
(8)	ホースカー自動昇降装置	
(9)	照明装置	

４　取付品（シャシ固有の取付品の他、次の取付品とする）

(1)　エンジン回転計
(2)　エンジン油温計
(3)　後退警報機（ＯＮ／ＯＦＦ切替スイッチ付）
(4)　キャブチルト装置（電動式）
(5)　マグネット式オイルパンヒーター（１０ｍコード、防水型）
(6)　フルパワーＰＴＯ
(7)　電子ガバナー

(8)　ＡＢＳ装置
(9)　専用エアコン
(10)　リヤヒーター
(11)　全扉パワーウインドウ
(12)　全席集中ドアロック（リモコン２個）
(13)　キーレスエントリー
(14)　ディスチャージヘッドランプ
(15)　フォグランプ
(16)　大型デジタル時計
(17)　カーラジオ（ＡＭ・ＦＭ付き）
(18)　サンバイザー（運転席・助手席）
(19)　サイドバイザー（アクリルスモーク）
(20)　メッキフロントグリル（ワイド用）
(21)　ドアモール
(22)　ドアリフレクター（赤反射シート、ドア４枚分）
(23)　スタッドレスタイヤ（アルミホイール付き）
(24)　マットガード（各フェンダーにゴム製の泥よけ）
(25)　カーナビゲーション（地デジ対応、ＳＤカード等によるデータ更新方式）
(26)　バックカメラ
(27)　コーナーセンサー（車両後部上下左右４箇所）
(28)　ＳＲＳエアバック
(29)　ドライブレコーダー（ＳＤカード等による常時録画方式）
(30)　その他メーカー標準品及び機能上必要な物

５　付属品（シャシ固有の取付品の他、次の取付品とする）

(1)	スノーワイパー	１組
(2)	発煙筒	１個
(3)	フロアマット（前席・後席、ゴム製）	１式
(4)	標準付属品・機械用工具セット	１式
(5)	予備スタッドレスタイヤ（アルミホイール付き）	１本

第４　艤　装

１　材料等

(1)　使用される材料は、耐食性に優れたもの、または、必要に応じ防食処理が施されたものであり、難燃性の優れたもの及び経年劣化の少ない素材を適正に選定したものであること。
(2)　車体上部、サイドエプロン、フロアーステップ、バンパー上部及びその他必要とする部分は、アルミ縞板とすること。
(3)　保護枠、計器盤、蝶板、手摺りその他金属の露出部分及び外部に取り付けるボルトナット類は、全てステンレス製のものを使用すること。
(4)　コーキング類は弾力性のある永年使用により硬化しないものを使用すること。
(5)　プラスチック類は、全て難燃性のものを使用すること。

(6)　ゴム製品は、全て耐油性の合成ゴムを使用すること。
(7)　電気系統の配線は、十分な電流容量を有するもので、かつ、耐候性の優れたものであること。

2　ダブルキャブの構造及び取付品等

(1)　堅牢な天蓋及び車両の両側にドアが設けられたものであること。
(2)　キャブ上部にデッキ（耐荷重１５０キログラム以上）を設け、デッキは全面アルミ縞板張りとする。また、デッキには転落防止用の手摺りを設けること。
(3)　キャブは電動油圧チルトとし、エンジンルーム点検灯を設けること。
(4)　座席は、前部２名、後部４名が安全に乗車できるものであること。また、各座席にはシートベルトを設けること。
(5)　座席にビニール製等の防汚カバーを取り付けること。
(6)　乗員席への昇降部には、安全に乗降するためのステップ及び手摺りを設けること。
(7)　後部座席前方にステンレス製の手摺りを設け、Ｓ字管フックを１０個取り付けること。（別途協議）
(8)　キャブ両側のステップは、乗降が容易で他に支障がない構造とすること。
(9)　フロントバンパー上部は、全てアルミ縞板張りとすることとし、キャブ全面（フロントガラス上下部）に窓拭き用の握り４個を設けること。
(10)　運転席と助手席の間にコンソールボックスを設け、艤装関係のスイッチ類を１０連スイッチ等に集約すること。
(11)　メインスイッチを運転席左ハンドル付近に設けること。（位置は別途協議）
(12)　助手席は、空気呼吸器埋め込み式シートとし、空気呼吸器の固定を解除したとき、空気呼吸器が脱落しないような構造とするとともに、容易に固定を解除できる構造とする。また、面体は着装の支障にならない位置に取り付けることとし、取付位置は担当者と協議して決定する。
(13)　空気呼吸器固定装置を後部座席背面に３基取り付けることとし、空気呼吸器固定装置の付近に、面体を掛けるためのフックを取り付けること。
(14)　後部座席背面の空気呼吸器固定装置の下部に収納ボックスを設け、床にはスノコを設けること。
(15)　後部座席背面の空気呼吸器固定装置の間に、２段のスチール製収納ボックスを設け、ネットで収納物の落下防止措置を講じること。
(16)　後部座席の背もたれは前倒れ式とし、空気呼吸器の脱着に支障とならない構造とすること。
(17)　後部座席下部に収納ボックスを設け、床にはスノコを設けること。
(18)　後部席上部前方及び後方にパンチング式のアルミ棚を設けること。
(19)　運転席と助手席の間に、可能な限りボックス等を設けること。
(20)　運転席と助手席上部にオーバーヘッドコンソールを設けること。
(21)　後部座席前の手摺り付近に、収納ボックス（Ａ３サイズ以上、厚さ１５㎝）を設けること。
(22)　助手席及び後部座席の左右にフレキシブル型室内灯を取り付けること。
(23)　ナンバープレートには、ステンレス製の保護枠を設けること。
(24)　消防章は、フロント中央部に朱色の台座を設け、その上に取り付けること。

(25)　キャブ天井は、電装類の点検が容易に行える構造とすること。
(26)　オイルパンヒーターコンセント（マグネット式）は、キャブ右側下部に設けること。
(27)　運転席と助手席の間のコンソールボックス付近に、車両の電源から１００Ｖ（１０００Ｗ）交流電源が使用できる２口コンセントを設け、インバーター等の機器の周囲は、放熱を考慮したカバーを取り付けること。
(28)　キャブ内の前後天井２ヶ所に、角型の室内灯を取り付けることとし、スイッチは３段切り替え（ＯＮ・ＯＦＦ・ドア連動）とする。
(29)　各ドアには、ドア連動の足元灯を設けること。
(30)　前席上部に、大型デジタル時計を取り付けること。
(31)　各装置のヒューズは、専用ボックス（収納場所）を設け、ヒューズごとに銘板を取り付けること。
(32)　無線機及びＡＶＭ装置は発注者の指定する業者が取り付けるため、装置本体及びアンテナ取付位置等について、担当者及び指定業者と協議すること。
(33)　キャブ上部のデッキに、投光器を取り付けること。

３　車体取付装置等

別表１のとおりとし、同等品以上の性能を有する品を主張する場合は、入札前に性能に関する資料を提出し、担当者の承認を得るものとする。

(1)　積載はしご昇降装置

ア　三連はしご、かぎ付きはしご及び鳶口２本を積載する動力昇降装置（佐藤工業ＳＳＡ－Ⅱ又は同等品以上のもの）を、車両上部に取り付けること。
イ　走行時の振動、衝撃等に耐える堅固なものであること。また、積載時に伸長を防止する構造であること。
ウ　坂道等の傾斜地においても、積載はしごの積み降ろしが安全確実にできるものであること。
エ　はしご昇降装置未収納確認ランプを、昇降スイッチ付近に設けるとともに、１０連スイッチに表示させること。
オ　昇降スイッチ部は、保護カバー（ステンレス製プロテクター）を取り付けること。
カ　故障時においても手動操作ができること。

(2)　泡ターレット

ア　放水銃は、起伏、旋回が可能なレバー式とし、車体上部に設け、ＹＯＮＥ製デュアルフォースノズルを取り付けること。
イ　放水銃までの配管は６５㎜とし、途中に緩衝用のジョイント及びボールコックを設け、車体上部で操作できる構造とすること。

(3)　自衛噴霧装置

ア　消火活動を安全に行うため、車両左右に各３個の自衛噴霧ノズルを設けること。
イ　配管は車体に隠蔽するが、配管が点検できる構造とすること。
ウ　それぞれ車両反対側に設けたスイッチにより、左右に設けた噴霧ノズルから３個同時に噴霧注水ができる構造とする。

(4)　ホースカー及び積載装置

ア　車両後部のシャッター内に積載すること。

イ　走行時の振動、衝撃等に耐える堅固なものであること。

ウ　ホースカーは、６５㎜ホース１０本以上を積載できる加納式とし、二又分岐管、管鎗２本、媒介金具を取り付けること。また、取り付けた備品等は容易に回転したり向きが変わったりしないようにすること。

エ　一人で操作できる油圧昇降装置とすること。

オ　ホースカーの積み降ろしが安全確実にできるものであること。

カ　ホースカー未収納確認ランプを昇降スイッチ付近に設けるとともに、１０連スイッチに表示させること。

キ　昇降スイッチ部は、保護カバー（ステンレス製プロテクター）を取り付けること。

ク　故障時においても手動操作ができること。

(5)　昇降用はしご

ア　車体左右前部に車体上部への昇降用のステンレス製はしごを取り付け、車体上部には安全に昇降できるように手摺り（握り）を設けること。

イ　車両後部右側に車体上部への昇降用のアルミ製引出し式はしごを取り付け、車体上部には安全に昇降できるように、手摺り（握り）を設けること。

ウ　はしご踏み面は、サンドペーパー型滑り止めを施すこと。

４　ポンプ室の構造及び装置

(1)　主ポンプ等

ア　主ポンプは省令で定めるＡ－２級とする。

イ　揚水装置はオイルを使用しない無給油式とし、構造はロータリー式又はピストン式とすること。

ウ　揚水装置は自動式及び手動操作できること。

エ　各ボールコックの開閉確認が操作盤に表示されること。

オ　操作盤は各社の仕様によること。

カ　主ポンプグランド部は、グリス補充不要のメカニカルシールとすること。

キ　主ポンプ先端部は、グリス補充不要な構造とすること。

ク　流量計は、各放口に１個、計４個取り付けること

ケ　積算流量計を設けること。

(2)　吸水口

ア　ポンプ室両側に吸水用ボールコック及び７５㎜吸水口（ストレーナー付き）を設けること。

イ　車体中央付近に吸管を左右どちらにも引き出せる、吸管横引き装置を取り付けること。（７５㎜×１０ｍの軽量吸水管付き）

ウ　左右の吸水用ボールコック付近に、吸水用エゼクター（確認装置付き）を取り付けること。

(3)　放水口

６５㎜のボールコック付マルチ放水口を、ポンプ室左右に各２個設けること。

(4)　中継口

ア　６５㎜のボールコック（ストレーナー付）中継口をポンプ室両側に各１個

設けること。

イ　左右中継口には、減圧金具（ＹＯＮＥ製リレーコントロールバルブ）を取り付けることとし、減圧金具を取り付けた状態で、シャッターが閉鎖できるようにすること。

ウ　中継口には、中継送水時のエアー抜きバルブを設けること。

(5)　ポンプ室

ポンプ室は側板密閉型とし、装置の点検及び手入れが容易にできるよう、できる限り開閉可能な点検口を設けること。

(6)　不凍液注入装置

ア　不凍液注入装置は、ポンプ室左側の容易に注入できる場所に、カップ式で設けること。

イ　不凍液は、主ポンプ、止水弁、吸水口、放水口、タンク吸水コック等の各ボールコックに確実に送り込まれるようにすること。

(7)　ドレンバルブ

ア　主ポンプ及び配管内の残水処理ができるドレンバルブを設けること。

イ　放水口及び中継口等、吐水側のドレンバルブ取付け位置は、両側面シャッター内とすること。

ウ　排水パイプは、車体下部まで伸ばして排水する構造とし、雪塊等による破損を防止するため、必要に応じガードを取り付けること。

(8)　調速装置

ア　車両左右の操作板に、機関の回転速度を調節するスロットル装置を設けること。

イ　機器保護のため、真空ポンプ作動時にエンジン回転がアイドリングでない場合は、自動的にアイドリングに戻し作動する構造とすること。

(9)　自動調圧装置

ア　制御可能圧力は、０．２ＭＰａ～１．５ＭＰａとし、任意の値で圧力の微調整ができる装置であること。

イ　手動放水操作への切り替えがスムースに行えるように、スロットルハンドル操作で自動調圧が解除される構造とすること。

ウ　中継等で元圧力が高く、アイドリングまで回転を下げても設定圧力まで下がらない時は、安全対策としてブザー音及び警告表示が点滅すること。

エ　中継等で水量が不足している時は、安全対策としてブザー音及び警告表示が点滅すること。

(10)　冷却水装置

ア　エンジン部等の冷却を要する部分に取り付けること。

イ　配管は一系統で、１個のコックで操作できること。

ウ　予備回路及びストレーナーを設けること。

(11)　高圧噴霧消火装置

ア　動力は、車体のトランスミッションサイドＰＴＯから取り出すこと。

イ　高圧消火ホースのホースリールは引出し式の回転台座とし、車両左側リアフェンダー後部の収納室に取り付けること。

ウ　ポンプは各社の仕様とし、管鎗とホース（５０ｍ以上）を付属すること。

(12)　混合装置

ア　混合装置はポンププロポーショナー方式とすること。

イ　混合比は３％又は６％、混合流量範囲は５００L/分～１，２００L/分とする。

ウ　配管等の材質は、原液に対して耐食性に優れたものを使用することとし、表面に防食加工が施されているものであること。

エ　混合装置及び配管等の洗浄は、自己のポンプを用いて容易に行える構造とすること。

オ　操作装置は、車体右側面に設けること。

カ　操作レバー、バルブ等は、車体右側のシャッター内の操作しやすい位置に機能的に配置すること。

キ　泡消火薬液操作に番号打及び操作要領銘盤を取り付けること。

(13)　泡消火液補給装置

泡消火薬液槽の薬液が無くなったとき、車両外の組み立て式水槽等から薬液を吸込み補給する装置を設けること。

(14)　水槽

ア　耐食性に優れた樹脂製（ＰＰ材）又は、ステンレスＳＵＳ３０４とする。

イ　積載容量は１，５００Ｌ以上とする。

ウ　内部には、走行時の車両の安全を確保するため、水の重心移動を緩和する防波板を設けること。

エ　水槽取付部は、走行時の振動又は衝撃等により損傷、緩み等が生じないものであること。

オ　水槽左右側面付近の見やすい位置に、水量計（浮き、目盛、保護管等）を各１個取り付けること。

カ　車体両側にタンク積載口（６５㎜マルチ式メス金具、ストレーナー付き）を設け、差込み式キャップ（鎖付き）を取り付けること。

キ　オーバーフローパイプ（６５㎜以上）を設けること。

ク　底部にドレンバルブを設けることとし、雪塊等による破損を防止するため、ガードを取り付けること。

ケ　上面には、内部の点検・清掃が容易にできる大きさのマンホール式の蓋を設けることとし、アルミ縞板に開閉ハッチを設けること。

コ　タンク吸水コックをポンプ室両側に各１個設けること。

サ　ポンプの吐水側から水槽へ送水できる構造とし、ボールコックを設けること。

シ　水槽への補給条件（送水圧力）が、見やすい位置に表示されていること。

ス　水が満載及び空の状態において、走行時の車両の安全性を確保できるものであること。

(15)　泡原液槽

ア　耐食性に優れた樹脂製（ＰＰ材）又は、ステンレスＳＵＳ３１６とする。

イ　積載容量は５００Ｌ以上で分離層とし、２区分とすること。

ウ　泡原液槽取付部は、走行時の振動又は衝撃等により損傷、緩み等が生じないものであること。

エ　泡液操作側に、液量計（浮き、目盛、保護管等）を２本取り付けること。

オ　底部にドレンバルブを設けることとし、雪塊等による破損を防止するため、ガードを取付けること。

カ　上面には、内部の点検・清掃が容易にできる大きさのマンホール式の蓋（蝶板付き）を設けることとし、アルミ縞板に開閉ハッチを設けること。

キ　泡原液が満載及び空の状態において、走行時の車両の安全性を確保できるものであること。

ク　泡消火薬液の使用後は、配管等を洗浄できる構造であること。

ケ　充填する泡消火薬液は、メガフォームＦ－６３３Ｔを５００Ｌとする。

(16)　資器材収納部等の構造

ア　シャッター

車体の左右各３面、後部１面に、防水、防振性に優れたアルミ合金製シャッターを取り付けることとし、開閉はバーハンドル式で走行時の振動又は軽い衝撃で開かない構造とすること。

シャッター開放時は、１０連スイッチに表示させること。

イ　ステップ

昇降口及び後部の必要な場所にステップ等を設け、立ち上り部分はアルミ縞板を張ること。

ウ　手摺り、足掛かり、握り棒等

各ステップの周囲及び安全管理上必要な箇所に設けること。

エ　車体上部

車体上部はアルミ縞板張りとし、ビス・ネジ等は埋め込み処理すること。

オ　外枠

外枠側面をキャブ上面と同等な高さに合わせること。また、左右の側面上部と後部左右角を面取り加工すること。

カ　予備吸水管等積載ボックス

車体右上部外枠部に、棒状吸水管（ネジ式３分割）等を収納するアルミ製収納ボックスを設けること。

キ　ステップ兼用型の扉の構造

左右ポンプ室下部の扉、左右リアフェンダー及び左右リアフェンダー後部の扉は、閂型の鍵（丸落とし、フランス落とし等）を設け、安全性の高いチェーンレスでステップ兼用型のアルミ縞鋼板張りの開閉装置とすること。

扉開放時は、１０連スイッチに表示させること。

ク　左右ポンプ室下部

左右ポンプ室下部は速消式ボックスとする。ホースを島田折りで収納するスペースを有し、ホースを固定する落下防止対策を行うこと。また、ホースを引き出しやすいように、ボックス出口（左、右、下）にローラーを設けること。

ケ　ホースカー上部の収納室

ホースカー収納室上部に、資器材を収納できる構造とし、落下防止構造とすること。

コ　リアフェンダー

各フェンダーにはゴム製の泥除けを取り付けること。

タンク積載口は両側ともリアフェンダーの扉を開放した箇所に設けること。

サ　リアフェンダー後部の収納室

右側リアフェンダー後部は、効率よく資器材を収納できる構造とし、引出し式（取っ手及び固定装置付き）を設け、資器材の搬入に支障とならない構造とする。

左側リアフェンダー後部は、高圧消火ホースを収納し、専用管鎗を固定する装置を設けるとともに、効率よくその他の資器材を収納できる構造とする。

シ　各ボックス

各ボックス内は防水構造とし、水抜き用の排水口を設けること。また、必要数の木製収納箱を付置し、樹脂製のスノコ板を敷くこと。

ス　積載資器材固定装置

積載資器材が飛び出さないよう着脱が容易な固定装置（固定金具又はマジックバンド式ベルト等）を設けること。

セ　保護措置

取付品等の操作上において、接触により塗装の剥離や損傷の恐れがある場所は、アルミ縞板等による保護措置を講じること。

ソ　牽引フック

車体前後部に牽引フックを取り付け、付近に最大荷重を表示すること。

タ　燃料タンク

容量は１００Ｌ以上とし、給油口は給油が容易な位置に設けること。また、付近に燃料の容量と種類を表示すること。

チ　バッテリー

点検が容易な引出し式とし、バッテリーの周囲は保護枠等を設けるとともに、扉付のボックス収納タイプとすること。

ツ　排気管

溶接部の継目は、確実な耐熱防錆処置を施し、ボックス等に接近する部分は防熱処理を施すこと。また、排気管の端末は車両後方右側に出すこと。

(17)　電装品及び取付装置等

別表1のとおりとし、同等以上の性能を有する品を主張する場合は、入札前に性能資料を提出し、担当者の承認を得るものとする。

ア　赤色警光灯

車両キャブ上部に、散光式警光灯（モーターサイレン内蔵、標識灯付）を取り付けること。

イ　補助赤色警光灯

車両前部左右に、各1個赤色警光灯を取り付けること。

車両側面上方に、左右各2個赤色警光灯を取り付けること。

車両後部上方に、左右各1個赤色警光灯（ステンレス製プロテクター付）を取り付けること。

補助赤色警光灯は、キャブ上部の散光式警光灯と連動すること。

ウ　路肩灯（ステンレス製プロテクター付）は、左右後輪付近に取り付け、スモールランプと連動とすること。

エ　電子サイレンアンプ

電子サイレンアンプは、運転席と助手席の間のコンソールボックスに取り付けること。

オ　マイク

　マイクは助手席側に１個取付けること。また、後部座席で使用できるようにコンソールボックス付近に１個取り付けること。

カ　１０連スイッチ

コンソールボックス内の操作しやすい位置に取り付けること。（別途協議）

項目は、標識灯、モーターサイレン、収納室、エンジンルーム、作業灯、積載はしご、ホースカー、照明作動中、扉開放、シャッター開放とする。

キ　標識灯

散光式警光灯と一体とし、スイッチは１０連スイッチに設けること。

ク　作業灯

車両側板上方に、左右各２個照明器具を取り付けること。

車両後部上方に、左右各１個照明器具（ステンレス製プロテクター付）を取り付けること。

スイッチは１０連スイッチに設けること。

ケ　投光器

佐藤工業所製ナイトスキャンチーフ（キセノン１５０Ｗ－２灯、ＤＣ２４Ｖ）を、車両キャブ上部に取り付け、標準装備のコントローラーの他に、無線リモートコントローラーにより遠隔操作ができるようにすること。また、投光器作動中は、１０連スイッチが点灯表示すること。

コ　電動モーターサイレン

自動吹鳴スイッチは１０連スイッチに設け、手動スイッチを単独で助手席付近に設けること。

サ　各照明灯

各収納室内に照明灯（ステンレス製プロテクター付）を取り付け、スイッチを１０連スイッチに設けること。

左右ポンプ操作部シャッター内に、計器や内部を有効に照明できるように照明灯（ステンレス製プロテクター付）を取り付け、スイッチは１０連スイッチ内の「収納室」のスイッチと共通とすること。

シ　後退警報装置

後退灯と連動し作動すること。

(18)　無線機及びＡＶＭ装置

車体両側のポンプ室付近に、無線機及びＡＶＭスイッチを収納する外部スピーカー用パンチングボード付きボックスを設けること。

(19)　積載品及び付属品

ア　別表２のとおりとし、安全確実に積載でき、容易にとりはずしができる堅固な装置等に備えること。また、同等以上の性能を有する品を主張する場合は、入札前に性能資料を提出し、担当者の承認を得るものとする。

イ　消防用ホースは、別添「消防用ホース仕様書」のとおりとする。

(20)　備　品

別表３のとおりとし、積載とあるものは安全確実に積載でき、容易に取り外しができる堅固な装置等に備えること。また、同等以上の性能を有する品を主張する場合は、入札前に性能資料を提出し、担当者の承認を得るものとする。

第５　塗装等

１　塗装

(1)　塗装、メッキ及び文字の記入は、上質な材料を使用し、入念に仕上げること。

(2)　車体及びシャッター部分は、防錆塗装及び下塗り塗装を行い、外装は朱色ラッカー仕上げ（３回以上）とし、コンパウンド及びワックス仕上げとする。

２　塗　色

(1)　朱色（関西ペイントＸＢ－３２７－Ｆ１３ウレタン６０、又は同等品）
　　車体外面（シャッター含む）

(2)　シルバー色
　　ポンプ室、ボックス等の内面

(3)　黒色
　　フェンダー内及び車体下回りを黒色とし、ノックスドール７５０（浸透性防錆剤）を塗布後、ノックスドールＵＭ－１６００でアンダーコート処理を施すこと。

(4)　その他

ア　ステンレス板、及びメッキ加工以外の部分は全て塗装し、金属露出部がないようにすること。

イ　タイヤホイールは、塗色しないものとする。

ウ　保証期間内に塗装及びメッキ部分に変色、亀裂、剥離及び浮き上がり等が生じた場合は、再塗装、再メッキを施すこととする。

３　文字の記入

(1)　キャブ両側に丸ゴシック体の白文字（反射）、１３０㎜角の大きさで、左右とも向かって左から「見附市消防本部」と記入すること。（細かい位置は別途協議）

(2)　車体上部アルミ縞板上に丸ゴシック体の黒文字で、対空表示用に「見附化学」と縦書きで記入すること。（文字の大きさと位置は、別途協議）

(3)　車両前後に丸ゴシック体の白文字（反射）、「見附Ｃ１」（約９０㎜角）と記入すること。（細かい位置は別途協議）

(4)　標識灯に丸ゴシック体の黒文字で「見附市」と記入すること。

(5)　側面シャッター両側と車両後部シャッターに、丸ゴシック体の白文字（反射）で、左右とも向かって左から「MITSUKE　FIRE　DEPT」と記入すること。（文字の大きさと位置は、別途協議）

第６　検　査

１　中間検査

(1)　組立が完了し塗装を実施する前に検査を受けること。

(2)　検査実施日の２週間前までに書面を提出すること。

(3)　検査の結果、軽微な変更要請があった場合は、受注者はこれに応じるものとする。

２　完成検査

(1)　新規登録後に完成検査（検収）を受けるものとする。

(2)　検査の結果、不備事項又は不合格品がある場合は、発注者の指示する日までに改修又は取替えを行い、再度検査を受けるものとする。

３　その他の検査

発注者が必要と認めた時は、受注者と協議のうえ検査を実施するものとする。

第７　その他

１　登録等の経費

納入までに要する経費等は、受注者の負担とする。ただし、車両登録に要する諸経費のうち、リサイクル費用は発注者が負担する。

２　車両ナンバー

車両ナンバーは、「１１９」とすること。

３　保証期間

(1)　納入の日から起算して２年間とし、保証書を提出すること。ただし、保証期間経過後といえども、設計不良、製造上の欠陥等による故障等を生じた場合は、無償で修復又は取り替え等を行うこととする。

(2)　車両納入後から１２ケ月までの点検は、受注者が無償で行うこととする。

４　納　入

(1)　新潟運輸局長岡陸運支局の新規登録を受けたのち、緊急自動車届出確認書を添えて、車両及び発電機の燃料を満タンにして納入すること。

(2)　納入場所

見附市昭和町２丁目６番３３号、見附市消防本部とする。

５　取扱い説明

(1)　専門員を派遣し取扱い説明を行うものとし、これに係る費用は、受注者の負担とする。

(2)　発注者の指定する日程で、２日間行うものとする。

別表１　取付品及び取付装置

番号	品名	数	仕様等	取付位置等
1	自衛噴霧装置	２式	両側３箇所ずつ	車体上部左右
2	ポンプ圧力計	２個		左右ポンプ操作部
3	ポンプ連成計	２個		左右ポンプ操作部
4	エンジン回転計	１式		キャブ
5	エンジン油温計	１式		キャブ
6	散光式赤色警光灯	１式	大阪サイレン製 ＮＦ－ＬＶＪ２Ｍ－ＬＣ２ モーターサイレン、標識灯付き	
7	補助赤色警光灯（前部）	２個	大阪サイレンＬＦ－３１Ｃ－２	キャブ前面 グリル上部左右
8	補助赤色警光灯（側部）	４個	大阪サイレンＬＦ－３１Ｃ－２	車体側部左右上部
9	補助赤色警光灯（後部）	２個	大阪サイレンＬＦ－３１Ｃ－２ （プロテクター付き）	車体後部左右上部
10	点滅ユニット	１式	大阪サイレンＬＶ－８	
11	作業灯（側部）	４個	大阪サイレンＬ１－３１	車体側部左右上部
12	作業灯（後部）	２個	大阪サイレンＬ１－３１ （プロテクター付き）	車体後部左右上部
13	照明灯	１式	佐藤工業所ナイトスキャンチーフ キセノン１５０Ｗ－２灯 無線リモコン付き	車両キャブ上部
14	電子サイレンアンプ	１式	大阪サイレンＴＳＫ－５１０２Ｖ	運転席上部
15	１０連スイッチ	１個	大阪サイレンＳＢＷ－１００ （リレー付き）	
16	各種確認灯	２式	揚水、各種コックの開閉状況	左右ポンプ操作部
17	流量計	４個		ポンプ操作部
18	積算流量計	１個		ポンプ操作部
19	不凍液注入装置	１式	本体１個（容量２００㏄以上液量が容易に確認できるもの）、付属装置１組	
20	車外無線送話機取出口 及びＡＶＭ操作ボックス	２式	パンチングボード 外部スピーカー付き	左右ポンプ操作部 （別途協議）

番号	品名	数	仕様等	取付位置等
21	消防章	１個	１５０㎜、クロムメッキ	フロント部
22	昇降用はしご（側部）	２式	ステンレス製（足踏み部はサンドペーパー型滑り止め）	車体左右側面
23	昇降用はしご（後部）	１式	アルミ製（足踏み部はサンドペーパー型滑り止め）	車体後部右側
24	収納ボックス	１個	Ａ３サイズ以上、厚さ１５㎝	キャブ
25	バッテリー引出し装置	１式	ボックスタイプ（保護カバー）	キャブ下
26	アルミシャッター	７枚	車体と同色塗装 バーハンドル式	車体左右３枚 車体後部１枚
27	点検灯	１式	エンジンルーム点検用	キャブ下
28	路肩灯	２個	プロテクター付き	左右後輪付近
29	ポンプ操作部照明（計器灯）	２式	大阪サイレンＬＩＡ－Ｗ２	左右ポンプ操作部
30	フレキシブルマップランプ	３個	ＬＥＤ	助手席１個 後部座席左右各１個
31	空気呼吸器収納シート	１式	飛鳥車体マジックバンドベルクロ仕様（面体収納ポーチ付き）	助手席シート
32	空気呼吸器取付装置	３式	クイックホルダー	キャブ後部
33	後部座席シート	１式	前倒式	
34	空気呼吸器下収納ボックス	１式		キャブ後部
35	後部座席前手摺り	１式	バス式（日機カタログ参照） Ｓ字フック１０個付き	キャブ
36	拡声器取付装置	１式		キャブ
37	カーナビゲーション	１式	地デジ（フルセグ）対応 ＳＤカード	キャブ
38	バックモニター	１式	バックギア連動	
39	コーナーセンサー	１式	車両後部４箇所（上下左右）	
40	デジタル時計	１個	大型表示	キャブ前席上部
41	ドライブレコーダー	１式	ＳＤカード、常時録画式	フロントガラス付近
42	室内灯	２個	角型、大型ＬＥＤ 保護枠・前席反射防止付き	前席中央 後部座席中央
43	ヘッドランプ	１式	ディスチャージャーランプ	

番号	品名	数	仕様等	取付位置等
44	ナンバー	１式	番号「１１９」、ステンレス製枠	車両前後
45	後退警報機	１式	ブザー音	車体後部
46	座席防汚カバー	１式	ビニールシートカバー	全席
47	重量物引出しレール装置	２式		車体左右
48	車体上部収納ボックス	１式	アルミ製（寸法等別途協議）	車体上部
49	左右横引式吸水管巻取装置	１式		車体中央付近
50	高圧噴霧装置	１式	各社の仕様による ホース、ホースリール、管鎗	車体左側
51	はしご動力昇降装置	１式	佐藤工業所ＳＳＡ－Ⅱ	車体上部
52	ホースカー昇降装置	１式	油圧式	車両後部
53	泡ターレット	１式	ＹＯＮＥ デュアルフォースノズル付	車体上部
54	泡消火液補給装置	１式		
55	メインスイッチ	１式	確認灯付き	運転席付近
56	スロットルコントロール	１式		運転席右側
57	ＰＴＯスイッチ	１式	確認灯付き	
58	電装品用 ヒューズボックス	１式	艤装関係専用ボックス 予備ヒューズ、銘板付き	キャブ
59	キャブ内収納棚	１式	別途協議	キャブ天井
60	オーバーヘッド コンソールボックス	１式	別途協議	キャブ前席上部
61	コンソールボックス	１式		前席中央
62	サイドバイザー	４枚	アクリル製、スモーク	左右前後ドア
63	サンバイザー	２枚		前席
64	メッキフロントグリル	１式	ワイド用	フロント部分
65	オイルパンヒーター	１式	マグネット式	キャブ右側
66	コンセント	１個	１００Ｖ　１０００Ｗ	キャブ

別表２　積載品及び付属品

番号	品名	数	仕様等	取付位置等
1	吸水管類			
	吸水管	１本	エキスパン式軽量吸水管 ７５㎜×１０ｍ	車体中央部 サイドプル式
	吸水管	１式	エキスパン式軽量　棒状吸水管 ７５㎜（長さ、本数は別途協議） クレモナロープ１０㎜１５ｍ付	車両上部のボックスに積載
	吸水口ストレーナー	３個		左右吸水口 サイドプル式吸水口
	吸水管ストカゴ	２個	ヒッパラー媒介付 ガイドロープ付 差込みオス媒介付	車体中央部
	吸水管まくら木	２個	ゴム製、ワンタッチ式	車体中央部
2	消火栓金具	２個	ＹＯＮＥ製ロープ引上式・消火栓媒介（７５㎜メスネジ×６５㎜差込みメス）マジックバンド式	サイドプル１ 積載１
3	中継用媒介金具	２個	ＹＯＮＥ製ＹＲ－６５ リレーコントロールバルブ	左右中継口
4	中継口ストレーナー	２個		左右中継口
5	消火栓開閉金具類			
	地下式消火栓開閉金具	１本	キーハンドル （メッキ、長さ８５０㎜）	積載
	地上式消火栓開閉金具	１本	ゴムライニング	積載
	フック式マンホールキー	２本		積載
	マンホールキー	２本		積載
	消火栓専用開閉器	１本	蓋開閉用、Ｔ字型	積載
6	スタンドパイプ	１本	ＹＯＮＥ製ＰＳ－６５、シルバー	積載
7	吸水管スパナ	２本	スロッター型	積載
8	管鎗			
	無反動管鎗	４本	ＹＯＮＥ製（６５㎜） ｅノズルフォルダー無反動管鎗型	ホースカー取付２本 積載２本
	無反動管鎗	２本	ＹＯＮＥ製（５０㎜） ｅノズルフォルダー無反動管鎗型	速消ボックス

番号	品名	数	仕様等	取付位置等
9	ノズル	４個	ＹＯＮＥ製クールファイターノズル ６５㎜×４	ホースカー取付２個 積載４個
10	ノズル	２個	ＹＯＮＥ製クールファイターノズル ５０㎜×２	速消ボックス２個
11	放口媒介金具	４個	スイーベル　６５・５０マルチ	左右放口
12	水槽補給口キャップ	２個	６５㎜オス、鎖付き	左右補給口
13	とび口	２本	長さ１．８ｍ	はしご積載装置
14	金てこ	１本	長さ１．２ｍ	積載
15	バール	１本	長さ９００㎜	積載
16	剣先スコップ	２丁		積載
17	角スコップ	２丁		積載
18	ポンプ工具	１式		積載
19	消火器	２本	自動車用ＡＢＣ粉末２０型 固定金具付き	積載
20	二叉分岐管	１個	６５・５０㎜マルチ	ホースカー
21	タンク補給口媒介金具	２個	６５㎜ネジメス×６５㎜差込メス	タンク左右補給口
22	消防ホース			
	６５㎜ホース	20 本	消防用ホース仕様書のとおり	積載
	５０㎜ホース	20 本	消防用ホース仕様書のとおり	積載
23	照明器具			
	発電機	１基	ヤマハＥＦ９００ｉＳ	積載
	投光器	１個	佐藤工業所製 フラッシュボーイＬＥＤ－ＳＰⅡ コード ライト収納袋付	積載
	三脚	１個	フラッシュボーイＬＥＤ－ＳＰⅡ 付属三脚	積載
	コードリール	１個	３０ｍ、防雨型	積載
24	ホースブリッジ	１組	スーパーブリッジＬ型	積載
25	メガホン	１個	大阪サイレンＴＲＭ－１０	積載
26	鉄線カッター	１丁	ＺＢＣ６００	積載

番号	品名	数	仕様等	取付位置等
27	三連はしご	１脚	関東梯子ＫＨＦＬ－ＳＩＷ８７ カスタム仕様（別途協議）	梯子積載装置
28	かぎ付きはしご	１脚	関東梯子ＫＨＦＬ－３６	梯子積載装置
29	携帯ライト			
	ライト	２個	キングペリカンライト（スペアランプ、資器材ハーネス付）	積載
	ＬＥＤライト	２個	ペリカンライト：スティルスライト２４１０ＬＥＤ蓄光ヘッド	積載
30	ドアオープナー	１丁	弁慶５００	積載
31	泡消火薬剤	700L	メガフォームＦ－６３３Ｔ	泡原液槽５００L ２0L×１０個
32	ロープ吊下げ金属バー	２式	フック１０個（別途協議）	左右ポンプ操作部
33	レシプロソー	１台	マキタＪＲ３０５０Ｔ	付属
34	レシプロソーブレード	５枚	ＢＩＭ３３（鉄工用）	
35	ディスクストレーナー	１個	Ｄ７５Ｓ（ゴミ取ネット５枚付） 媒介金具付（６５㎜差込オス×７５㎜メスネジ）	積載
36	ホースバック	２式	セイバーズ製５０㎜ホース２本収納	積載
37	漏水バンド	５枚		積載　５枚
38	発泡筒先	２本	ＹＯＮＥ　ＦＮＬ－６５・４００	積載
39	合図灯	２本	ＬＥＤ	積載
40	伸縮コーン	５個	高さ５５０㎜ ＬＥＤ赤色灯付	積載　１個 付属　４個
41	矢印板	２枚	縦３８０㎜×幅７００㎜ 赤矢印、流動	積載
42	携帯警報機	５個	スーパーパスⅡ	付属
43	加納式ホースカー	１台	６５㎜ホース１０本以上積載 上枠付き 分岐管取付装置付 管鎗２本取付装置付 媒介金具取付装置付	車両後部 （別途協議）
44	非接触温度計	１個	ＹＯＮＥ製プロサーモ	付属
45	組み立て式水槽	１式	容量１㎥	付属

番号	品名	数	仕様等	取付位置等
46	媒介金具　各種	１個	６５メス×６５メス	ホースカー　１個 積載　１個
		１個	６５オス×６５オス	ホースカー　１個 積載　１個
		１個	６５オス×５０メス	積載　２個
		１個	６５メス×５０オス	積載　２個
		１個	５０メス×５０メス	積載　２個
		１個	５０オス×５０オス	積載　２個
47	空気呼吸器	４体	ライフゼムＡ１－１２ ＣＸ面体（サイズM） ブルネッカー７３０ＣⅡＺボンベ （ゲージ内臓型バルブ１５０度位、内容量６．８Ｌ、２９．４Ｍｐａ対応、保護カバー付）	積載
48	予備ボンベ	４本	ブルネッカー７３０ＣⅡＺボンベ （ゲージ内臓型バルブ１５０度位、内容量６．８Ｌ、２９．４Ｍｐａ対応、保護カバー付）	積載
49	エンジンカッター	１基	スチールＴＳ４１０ 加圧式吸水タンク付き	積載
50	吹き流し	１個	ヘリコプター用 （アルミ伸縮ポール付）	付属
51	補修用ラッカー	１式	車体同色（朱色４Ｌ入り）	付属

別表３　車両備品

番号	品名	数	仕様等	積載別
1	機械工具	１式	ＫＴＣ製ＳＫ４５１８Ｍ（工具箱付）	付属
2	フロアマット	１式	標準品	積載
3	車輪止め	４個	ゴム製（大型車用）	積載　２個 予備　２個
4	非常信号用具	１本	発煙筒（標準付属品）	積載
5	三角停止表示板	１個		積載
6	赤旗	１本	柄は木製、３０cm角	積載
7	自動車工具	１式	標準品	積載
8	スタッドレスタイヤ	１本	予備タイヤ　　アルミホイール付	付属
9	ガレージジャッキ	１個	油圧式１０ｔ級	付属

消防用ホース仕様書

見附市消防本部

第１　総　則

１　目　的

この仕様書は、結合金具付消防用ホース（以下「ホース」という。）について定める。

２　適合法令等

ホースは、次に掲げる省令に適合するもので、消防法第２１条の２の規定に定める検定に合格したものとする。

⑴　消防用ホースの技術上の規格を定める省令（昭和４３年９月１９日・自治省２７号）

⑵　消防用ホースに使用する差込式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成４年１月２９日・自治省令２号）

第２　仕　様

１　ホース種別

呼　称	長　さ	使　用　耐　圧	形　状	備　考
５０mm	２０m以上	１．６ＭＰａ以上	綾織り軽量	蓄光仕様
６５mm	２０m以上	１．６ＭＰａ以上	綾織り軽量	

２　ハカマの色

ハカマの色は黄色とする。

３　結合金具

アルミ合金製差込式（テフロン加工・Ｏ リングパッキン付き）とし、ホースの接続はカップリング締めとする。

３　署所名の表示

⑴　各ホースに「見附署」と名称を表示すること。

⑵　表示は、ホース本体の商品名の表示と同等の耐久性であること。

⑶　書体はゴシック体、文字の大きさは約６㎝とする。

（表示例にあっては、別紙のとおり）

消防用ホース印字図